

専門学校 健祥会学園だより 2019.SPRING

Tomorrow



専門学校 健祥会学園

充実した 人生の礎を築く



専門学校 健祥会学園 校長 武田 英二

専門職をめざして

専門学校 健祥会学園では、国家資格である介護福祉士、保育士・幼稚園教諭、理学療法士、作業療法士をめざす多くの若人が、心身を鍛え、身体の構造や生理的機能、疾患や障がい及び介護やリハビリテーションに関する専門知識・技術を習得しています。少子高齢社会で、理学療法士は、主に身体障がい者に対して運動療法、物理療法、訓練により機能を回復させます。作業療法士は、精神身体障がい者の生活活動を支援し、スムーズな日常生活を可能にします。介護福祉士は、高齢者や障がい者に対して心身の状況に応じた介護により生活を支援します。保育士・幼稚園教諭は乳児や幼児の発育発達を保護者とともに支援します。このように専門職人財は障がい者、高齢者、子ども等の社会で弱いヒトをケアします。ヒトは身体機能の回復や優しい心や気持ちによって元気になります。したがって、「専門的な知識と技術」に加えて「ヒトをやさしく守る気持ち」、「対話能力」「人間性や人格」を磨くことが必要です。

学園生活

学園のビジョンは「心と心が繋がる介護、保育、医療を提供し、豊かな人生と心が満たされる社会を実現する」ことで、人財育成方針は「礼儀と感謝を実践し、介護、保育、医療

の知識・技術を知恵に変えることができる実践力を有し、ダイバーシティの観点を持った『心と心を繋ぐ人財』を育成する」ことです。学園生活は座学や実習と新入生歓迎会や学園祭などを通じた友人との交流や教員との語り合いによって専門職としての責任ややりがいを学ぶことができます。人生は夢を描き、ひたむきに努力を重ねていくことによって、夢をかなえることができます。お互いを尊重して声をかけながら友達や家族とともに集団で生きることが大切です。そのためにキャンパスは日頃の何気ない挨拶や言いにくい言葉使いを大切にしています。高度な人財を育成するためには、学校の教育とともに実習現場との密接な連携が求められています。幸い実習施設および就職できる施設が充実していることは、学校と現場が協力して人財を育成できる、優れた教育環境であり、本校の特徴です。

健祥会学園での飛躍

2018年4月から校名を「専門学校 健祥会学園」に変更しましたが、変革の時代に合った医療を含めた教育を強化し、人財を育成することを決意したものです。学園の介護福祉学科、理学療法学科および作業療法学科は文部科学省から「職業実践専門課程」に認められています。

また、保育学科は2018年10月に本課程の

承認を申請しました。これは教育内容、教員および教育環境が優れていることが認められたもので、現在は全国の約3分の1の専門学校が認められています。

教育指導方法としてはアクティブ・ラーニングや個性を重視したTCI (Temperament and Character Inventory) 教育などの教員が寄り添った指導に加えて、iPadやポートフォリオを活用した「教育の質の向上」、研究や系統的継続的研修による「教員のレベルアップ」、WiFi環境などの「教育環境の改善」を図っています。

本学園に対する多くの卒業生の意見としては、「目指す資格が取得できる」「先生と学生の距離が近い」「専門分野の知識・技術を理解・修得して実際に活かせる力が学校で身についた」と感じている割合が高いことも特徴です。自分の人生を充実したものにするためには、生きる意味や価値を見だし、目的や生き方を絶えず考えておくことです。一つのことに打ち込み、一生懸命コツコツ努力して生きていくことが、心を高め、人格を磨いていくこととなります。専門学校で頑張ることが、皆さんの未来を築くことに繋がります。健祥会学園で専門職をめざし、充実した人生の礎を築いていただきたいと思います。

ダイナミックに 「進化」せよ 「深化」せよ



健祥会グループ理事長 中村 太一

変わりゆく時代のニーズに柔軟に対応するとともに、介護だけでなく、幅広い専門分野の学びの府であることを内外に広く知らせるために、校名を専門学校 健祥会学園と改め、新たな歩みを始めて1年が経ちました。この間、文部科学省より、「職業実践専門課程」の認可もいただき、「人々の健康と幸福に資することができる実践力を有し、広く優しい心を持った専門職を養成する」という建学の精神のもと、ダイナミックな改革に取り組んでいます。

そのひとつがICTの活用による効率的なカリキュラムの展開であり、継続的持続的な教育内容の進展と教員のレベルアップです。また、企業・行政・学術団体との連携も積極的に推進し、実践を見据えた高度専門職を育てる態勢づくりをすすめています。

一方、生産性のアップをめざして、国をあげて働き方改革がすすめられており、医療・介護現場にも、ICTやAIの利用が広がってきています。保育園では登退園をタブレット端末で管理し、介護現場ではロボットが介護職をサポートします。今後その動きもどんどん進化していくでしょう。これからの専門職には、高い専

門性に加え、ICTやAIを使いこなす力も不可欠です。

我が国はいま、革命的と言っていいほどの変革期にあります。ICTの活用やAIの進展が、生産の現場もサービスの現場も大きく変えつつあります。そして、生産年齢人口の激減を補うために、新たな在留資格による外国人労働者の受け入れ拡大が図られようとしており、多様な人材が能力を発揮しながら競い合う「共創」と「競争」の時代の入り口に皆さんは立っているのです。

技術革新のもたらす変化とグローバル化故の不確実性の中をたくましく生き抜くためには、専門性こそが武器です。本校では、豊かな教育環境と最新の設備の下、手厚い教師陣が専門性・科学性に立脚した先進の知見と技術を提供し、皆さんの専門職としての「進化」と「深化」をサポートします。同時に、人に向き合い、いのちを預かる「職」としてのコミュニケーション能力や「心からの優しさ」を豊かに育みます。教師と学生の固い絆も本校の伝統です。

さらに、母体である健祥会グループには介護から医療、保育、障がいまで、様々な種別の施設が多数あり、その協力により、

皆さんは現場で最先端を学ぶことができます。クリニック・施設と本校との連携のもと、科学的な数値に裏付けられた介護・リハビリの研究活動と実践もすすめられています。

将来的にAIにより多くの職種において仕事が奪われるといわれていますが、人に向き合う介護、保育、医療の仕事は、AIがいくら進化してもとってかわることはできない仕事、人生を賭けるに足る素晴らしい仕事です。どうか誇りをもって、専門職としての揺るぎない自分をつくりあげていてください。時代は皆さん方を待っています。



校名変更記念パーティ開催！

高校・専門学校で先生方、学生たちが実習でお世話になる介護・医療・保育施設の皆様方にご参加いただき、学生会館で校名変更記念パーティを開催しました。健祥会グループ理事長中村太一が、「22年前の開校式に健祥会グループ創始者中村博彦が着用したモーニングを来てきました」と、創設の想いを大切に、歴史と伝統

をしっかり継承しつつ、新たなステージをめざす決意を示すとともに、フィールドをより広げるために新しい校名からは「徳島」をなくし、時代のニーズに対応した学科の新設も視野に「福祉」の冠をなくしたことなどをご説明し、校長武田英二とともに、一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。



『職業実践専門課程』に認定！

「職業実践専門課程」として文部科学大臣より3学科が認定されました。「職業実践専門課程」とは、専修学校の専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的

として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定するものです。2018年度には、保育学科も申請をしています。



ICT活用 授業にタブレット導入！

2018年5月より理学療法学科・作業療法学科の1年生を対象にタブレットを用いた授業をスタート！「いつでも、どこでも、なんでも」を合言葉に、学園内での授業、実習先、自宅学習に活用しています。授業の資料保存、書き込みや修正も自由に行え、クラスメートとの情報共有にも大活躍です。



専門学校 健祥会学園 第23回学園祭 / 2018.10.27-28

挑戦～平成最後の…

今年のテーマは「挑戦」。専門学校 健祥会学園に校名が変わって初めての学園祭で、校名変更とともに学園祭も新たな一歩への挑戦です。学生が企画運営する様々なイベントや模擬店が、学園祭の開始から終了まで途切れることなく行われ

ました。すべてのイベントをスーパーライブ前に終了し、学生全員でライブを楽しむ形への変更も挑戦でした。学生、教職員が一丸となって学園祭を盛り上げ、そして楽しみました。



医療法人ゆうの森 おもてなし室 室長の一井美哉子先生を講師に迎え、多職種のチームが全力で支えることの大切さを教えていただきました。



オープニングアクトは地元徳島の中学生アーティストの「丸山純奈さん」。透き通った心に響く歌声で会場を包み込みました。そしてメインアクトは「wacci」。ライブ開始早々スタンディングで大盛り上がりでした。MCも楽しく会場が一体になってライブを楽しみました。



海外研修旅行 / 2018.9.24-30

2018年9月24日(月)～9月30日(日)の7日間、過去最高人数の計41名で海外研修旅行に参加してきました。

今年度の訪問先はスウェーデン・ストックホルムとスペイン・バルセロナの2か国！ストックホルムではスウェーデン・クオリティ・ケアにて社会保障の歴史や現在の社会保障制度について詳しく説明を受けました。医療・福祉・教育の先進国であるスウェーデンと日本の社会保障制度の違いを改めて考える良い機会になりました。その後は各学科ごとに高齢者施設、幼児教育施設、リハビリテーション施設に分かれ見学することができました。また、スウェーデン大学の日本語学科の学生と交流し、

日本に興味のある学生達と日本の文化や芸能、アニメの話題など様々な話で盛り上がりました。

バルセロナに移動してからはアントニオ・ガウディの代表作であるサグラダ・ファミリアやカサ・ミラ、グエル公園などの世界遺産と、スペインの観光地を巡りました。個別のオプションツアーでは修道院やピカソ美術館、FCバルセロナの本拠地カンプノウスタジアム、フラメンコ鑑賞など様々な芸術や文化に触れることが出来ました。同じヨーロッパでも全く違う文化を持ち合わせる2か国を巡ることにより、多くの経験をする事ができました。



介護福祉学科

介護福祉学科では、講義・実技演習・介護実習を通して、介護現場で必要とされる確かな知識と技術を持った介護福祉士を養成しています。法人内に介護施設を持つ強みを活かして、リフト車やロボットスーツを用いた実践的な実技演習も行っています。昨年度から始まった介護福祉士国家試験の本学科の合格率は97.3% (全国平均70.8%) でした。今年度も、全員合格をめざし頑張っています。

私達の介護福祉士像



生活支援技術



介護実習



保育福祉学科・保育学科

保育福祉学科・保育学科では、幼稚園教諭・保育士・社会福祉士になるための「専門力」を有するために必要な理論や技術の習得をめざしています。「人間力」「実践力」を培うために学生主体の授業を展開し学びを深めています。

食育



子どもたちのクッキング



子どもたちの前で、授業で学んだオペレッタや人形劇などを披露

Tomorrow Land

授業・校外授業



学生主体で子どもたちへの関わりを計画・実践

理学療法学科

理学療法学科では、学生一人ひとりが将来社会に貢献できる理学療法士になれるように、さまざまな工夫やアイデアを取り入れた授業や実習を実施しています。また、学生が主体的に学び、充実した学生生活が送れるように、学生と教員が協力してクラス運営に取り組んでいます。

新入生オリエンテーション



新しい仲間と目標を決めよう!



バリアフリー 2018

大阪での一日研修旅行

ロボット体験授業



症例発表会



国家試験合格するぞ!



作業療法学科

作業療法学科では、「こころ」と「からだ」の回復に向け、その人らしい生活を支える存在となれるよう知識・技術・人間力を磨きます。地域での生活にも目を向け活動や参加が促進できるような作業療法士の育成を行っています。

学校祭



就職ガイダンス



真剣な表情です。毎年たくさんの施設や病院から参加していただいています。

模擬レクリエーション発表



自分たちで考えたものを発表! 実践型の授業です。



バリアフリー 2018

リハビリテーションに関する機器の最新情報を知ることができました。

解剖学



粘土で脳のパーツを作成し構造を勉強しました。

授業風景



タブレットを使って体の動きを学びます。

球技大会 2018.10.17



学生協の球技大会では、学生は生き生きとスポーツに取り組んでいました。結果はバレーボール女子は優勝し、卓球も個人優勝しました。当日は、他校の学生ともスポーツを通じた交流が図られていました。

結果

卓球 男子個人
優勝 (楨納 健/保育学科1年)

バレーボール 女子
優勝



主催/徳島市学生生徒補導連絡協議会

体験発表会 2018.11.13



第40回徳島市学生生徒補導連絡協議会の体験発表会が開催され、市内の各学校から8名の学生が参加し、各自のテーマで発表をしました。

本学園からは、株木夕佳さん(保育学科1年)が「今の私にできること」というテーマで発表をしました。内容は家族から学んだことや、現在「保育士」の資格取得に向けて、日々頑張っていることを自分の言葉でしっかり伝えました。審査の結果、優秀賞を受賞しました。今回発表の機会を得て保育士資格取得に向け、更なる自信につながったように思います。

OPENCAMPUS & WORKSHOP

今年もオープンキャンパスやシゴト体験会でたくさんの出会いがあり、将来を考えるきっかけづくりを行いました。

オープンキャンパス

授業体験や学科ごとにさまざまなプログラムがあり、在校生や卒業生との交流もできます。学校の雰囲気や授業のこと、将来のこと…なんでも質問できます。

シゴト体験会

健祥会グループならではの現場直結イベント。それぞれの施設で「見て触れて体験して」福祉・保育・医療のシゴトに触れるチャンスです。

1日キャンパス・シゴト体験会

午前中に学校で学び、午後からは現場で実践します。学びが実際に現場でどのように活かされているかを体験できます。

女子限定オープンキャンパス

教員・学生・参加者みーんな女性。女子による女子のためのイベント。スイーツ付きのピュウフェ式ランチも人気です。

すべて参加費無料、昼食も無料です。

保護者の方も一緒に参加することができます。年間を通じて実施していますので、お気軽にご参加ください。

